Nagoya College of Music

名古屋音楽大学

2018年度　学生募集要項

◆1年次入学試験

◆2年次編入学試験

◆3年次編入学試験

◆大学院入学試験

◆研究生（学部）

◆研究生（大学院）

【外国人留学生用】

◆INDEX◆

入学試験共通項目 …… P.2
学部入学試験要項 …… P.3
大学院音楽研究科入学試験要項 …… P.21
研究生（学部）募集要項 …… P.31
研究生（大学院）募集要項 …… P.32
譜例・例題 …… P.33

名古屋音楽大学を志すみなさんへ

名古屋音楽大学の建学の精神は、「共なるいのちを生きる」です。自分の個性、主体性を見失うことなく、しかも他者と共に生きるという意味です。

名古屋音楽大学に入学し、音楽を愛する人たちと出会うことで、それぞれの音楽を大切にしながら、一人ひとりの可能性を伸ばしてほしいと思います。

●アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「共なるいのちを生きる」は、お互いの違いを認めながら協同して生きるという意味です。「自分と異なる個性を受け入れ認め合う、他者に対して思いやりの気持ちをもつ」というのが本学の根本精神です。

- 多様な個性を認めあい、共感する心をもった学生を求めます。
- 自分の個性を大切にし、学習する意欲をもった学生を求めます。
- つねに前向きに努力し、達成する歓びを追求する学生を求めます。

名古屋音楽大学は、音楽という専門を学ぶことを通じて、響きあう心と響きあう命について深く学ぼうとする意欲にあふれる学生を求めます。

名古屋音楽大学大学院を志すみなさんへ

名古屋音楽大学大学院では少数での教育のため、教授陣がしっかりと学生に向き合い、可能性を伸ばすお手伝いをすることができます。また、学部の教授陣に加え、著名な学外の演奏家を客員教授としてお迎えしています。

大学院の 2 年間は、人間性と専門性を伸ばす貴重な時間となると思います。恵まれた環境の名古屋音楽大学大学院で大いに研鑽を積み、音楽の専門家として世の中に羽ばたいてください。

●アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「共なるいのちを生きる」は、お互いの違いを認めながら協同して生きるという意味です。

「自分と異なる個性を受け入れ認め合う、他者に対して思いやりの気持ちをもつ」というのが本学の根本精神です。

名古屋音楽大学大学院音楽研究科では、本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい以下のような力を有する学生を求めています。高度な専門性を追求する力、国際感覚を磨く力、自ら社会に貢献する能力を養う力を備え、大きな夢を持って、将来広く音楽に関わる分野を担う資質・能力と豊かな人間性を持った学生。

【外国人留学生用】名古屋音楽大学　入学試験共通項目

■入学試験検定料

35,000 円

※１次選考合格の連絡を行う時に、検定料の納入方法を通知しますので、指示に従い納入してください。
（出願書類の送付時には納入しないでください。）
※一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

■出願方法

書留速達郵便で送付してください。本学窓口での受付けは行いません。
※出願書類の記入漏れ、貼付漏れ等の不備があると受付けできない場合があります。
※出願後の志望コース・試験曲目等の変更は認めませんのでご注意ください。
※試験日３日前までに受験票が届かない場合は、本学入試・広報センターまでお申し出ください。

■出願先

〒453-8540　　名古屋市中村区稲葉地町 7-1
名古屋音楽大学　入試・広報センター　TEL　052-411-1545

■合格発表

合格通知は本人宛に郵送します。尚、電話による問い合わせには一切応じません。

■受験に関する注意事項

①本学への道順、交通機関、所要時間等についてはあらかじめ確認しておいてください。
②受験票、筆記用具は試験期間中必ず持参してください。
③指定科目を１つでも受験しなかった場合は全試験棄権したものとみなします。
④昼食は各自で用意してください。
⑤自動車による登校は事故等の心配がありますので、公共交通機関をご利用ください。
⑥遅刻者の受験は原則として認めません。
※試験当日、事故等が発生した場合は、速やかに本学入試・広報センター〔052-411-1545〕まで連絡してください。
⑦受験票の裏面に「受験上の心得」が記載してあります。試験当日までに必ずよく読んでおいてください。
⑧受験場の下見を希望する場合は、本学入試・広報センターまで申し込んでください。
※ただし、休日および入学試験の前日や当日には許可できません。
⑨試験期間中、受験生以外は試験会場への立ち入りはできません。保護者の方は控室にてお待ち願います。

■練習室の貸し出しについて

試験期間中、学内の練習室を無料で貸し出します。試験日当日に窓口にて申し込んでください。
なお、遠隔地からの受験生（試験日前日からの宿泊者）に限り、試験日前日（13:00～17:00）にも
貸し出しを行いますので、希望者は事前に入試・広報センターまでお申し出ください。

■楽器の貸し出しについて

ピアノ、電子オルガン、テューバ、コントラバス、ハープ、マリンバ、箏、ドラムは本学のものが使用できます。
その他の楽器は各自持参してください。
テューバ、コントラバスの受験生は志願票、受験票等の楽器貸与欄に楽器の貸与を「希望する・希望しない」のどちらかに○を付けてください。

■入試に関するお問い合わせ

名古屋音楽大学　入試・広報センター　TEL　052-411-1545 直通　フリーダイヤル　0120-115-796

学部入学試験要項

【外国人留学生用】

■音楽学部　募集定員【1 年次・2 年次編入・3 年次編入】

学科／定員	コース／専攻楽器
音楽学科 若干名	●ピアノコース ●管楽コース／フルート、オーボエ、クラリネット、バス・クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ ●弦楽コース／ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ ●打楽コース／マリンバ、小太鼓 ●邦楽コース／箏、三味線、尺八 ●声楽コース ●舞踊・演劇・ミュージカルコース ●作曲・音楽クリエイションコース（1 年次のみ） ●作曲コース（2・3 年次編入のみ） ●映像音楽コース（2・3 年次編入のみ） ●電子オルガンコース ●ジャズ・ポピュラーコース／ピアノ、ドラム、ベース、ギター、サクソフォーン、トランペット、トロンボーン、ヴォーカル ●音楽教育コース ●音楽療法コース ●音楽総合コース ●音楽ビジネスコース

■入学試験日程

出願期間	2017 年 10 月 2 日（月） ～ 2017 年 11 月 8 日（水）　郵送のみ・必着
1 次選考	書類選考
1 次選考発表	2017 年 11 月 17 日（金）　発送
2 次選考	2017 年 12 月 2 日（土）
合格発表	2017 年 12 月 8 日（金）　発送
入学手続期間	2017 年 12 月 11 日（月）～12 月 26 日（火）　一括納入

■選考方法

1 次選考		書　類　審　査	出願書類、並びに「日本留学試験」または「日本語能力試験」の成績によって審査を行います。
2 次選考	1 年次・2 年次編入	実　技　試　験	コースにより課題が異なりますので確認をしてください。
		作　　文	音楽ビジネスコース志望者のみ
		面　　接	全コース
	3 年次編入	実　技　試　験	コースにより課題が異なりますので確認をしてください。
		小論文または作文	音楽教育、音楽療法、音楽ビジネスコース志望者のみ
		面　　接	全コース

入試区分と出願資格について

入試区分	出 願 資 格
1 年次入学	**以下の条件をすべて満たす者。** （1）日本国籍以外の国籍を有し、外国において学校教育における 12 年の課程を修了（見込み）の者、またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者。 （2）「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。 （3）入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。 （4）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者。
2 年次編入	**以下の条件をすべて満たす者。** （1）日本国籍以外の国籍を有する者。 （2）次のいずれかの条件を満たす者。 ①日本において 4 年制大学、短期大学を卒業した者、または、文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上、総授業時間数が 1,700 時間以上であるものに限る）を修了した者（学校教育法に規定する大学入学資格を有する者に限る）、および卒業もしくは修了見込みの者。 ②日本において 4 年制大学の 1 年次を修了した者（一つの大学に 1 年以上在籍し、そこで 32 単位以上修得した者）、および 1 年次修了見込みの者。 （3）「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。 （4）入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。 （5）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者（ただし、日本の大学・短期大学に在籍した者を除く）。
3 年次編入	**以下の条件をすべて満たす者。** （1）日本国籍以外の国籍を有する者。 （2）次のいずれかの条件を満たす者。 ①日本において短期大学を卒業した者、または 2018 年 3 月までに卒業見込みの者。 ②日本において 4 年制大学を卒業した者、または 2018 年 3 月までに卒業見込みの者。 ③日本において 4 年制大学の 2 年次を修了した者、または 2018 年 3 月までに修了見込み者（ただし、在学中に 62 単位以上を修得した者に限る）。 ④外国において、学校教育における 14 年以上の課程を修了した者および 2018 年 3 月までに卒業見込みの者。 （3）「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。 （4）入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。 （5）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者（ただし、日本の大学・短期大学に在籍した者を除く）。

■学費について（2017 年度参考）

	入 学 金※	授 業 料	教育充実費	合　　計
入 学 手 続 時 納 付 金	200,000 円	425,000 円	250,000 円	875,000 円
入学年度秋学期納付金		425,000 円	250,000 円	675,000 円
初　年　度　総　合　計	200,000 円	850,000 円	500,000 円	1,550,000 円

※２年次編入・３年次編入は、入学金免除

●入学手続時納付金

①その他納付金として、雅亮会（保護者後援会）入会金 10,000 円（入学時のみ）、雅亮会会費 1 年次分 10,000 円があります。

②入学手続きをされた後、2018 年３月 31 日（土）12 時までに入学辞退の申し出があった場合、入学金を除く納付金を返還いたします。

●入学年次秋学期納付金

①この学期から、学納金負担者の軽減を図るため、納付金の延期･分納等の取扱いをすることができます。

②2 年目以降の年額納付額は上記金額から入学金を除いた額 1,350,000 円となります。

●その他

教職課程履修者は、3 年次に定められた課程費を納付していただきます。（2017 年度は 18,000 円程度）
なお、中学校教諭免許状取得を希望する学生は、介護等体験が義務付けられ、体験費用として 8,000 円が必要となります。

■特待生制度（学部）

学業成績が特に優秀で、健全なる学生生活を営む学生に対し、当該学期または年度の授業料相当額の全額、半額、または４分の１の額が奨学金として支給されます。1 年次秋学期（Ⅱ期）から対象となります。

■出願書類

出願書類		1年次	2年次編入	3年次編入
①入学試験志願票	本学所定用紙　（裏面に「⑨振込証明書」を貼付してください。）	○	○	○
②推薦書　※1	12 年の課程の最終学校長、または担当教員の推薦書を提出してください。	○	○	○
③整理票	本学所定用紙　（受験票と切り離さないでください。）	○	○	○
④受験票	本学所定用紙　（整理票と切り離さないでください。）	○	○	○
⑤受験曲目記入票	本学所定用紙 **※受験曲目は必ず控え（コピー）をとっておいてください。**	○	○	○
⑥パスポートコピー	氏名及び在留資格・在留期間・顔写真記載のページをコピーしてください。	○	○	○
⑦写真（3 枚）	正面上半身、脱帽、背景なしで出願 3 ヶ月以内に撮影したもの（縦 4ｃｍ×横 3ｃｍ）を**入学試験志願票・整理票・受験票**の所定欄に貼付してください。	○	○	○
⑧受験返信用封筒	本学所定のものに自分の住所・氏名等を明記し、本学から自宅までの代金分の切手を貼付してください。	○	○	○
⑨振込証明書	入学試験志願書の裏面に貼付してください。	○	○	○
⑩最終出身学校の卒業（見込）証明書　※1	12 年の課程の最終学校のもの　※2	○	○	○
⑪最終出身学校の成績証明書　※1	12 年の課程の最終学校のもの　※2	○	○	○
⑫「日本留学試験」または「日本語能力試験」の成績通知	成績通知書は原本（オリジナル）を提出してください。 原本は確認のうえ返却します。	○	○	○
⑬個人調書（履歴書）	本学所定用紙	—	○	○
⑭声楽・歌唱実技　ピアノ伴奏譜	提出楽譜は１ページを **A４版（縦 30ｃｍ×横 21ｃｍ）の大きさの台紙に貼って、**各ページが全開するように横一連に綴じてください。手書きの楽譜の場合は黒のペンまたはボールペンで正確に書いてください。	声楽・歌唱実技を受験する者		
⑮作曲・音楽クリエイション実技提出作品	A:自作品の楽譜（コピー可）を同封すること。 B:制作した楽曲をオーディオ CD で提出のこと。	作曲・音楽クリエイションコースを受験する者		
⑯映像音楽　実技提出作品	オーディオ CD で提出のこと。	映像音楽コースを受験する者		
⑰作曲実技　提出作品	自作曲の楽譜（コピー可）を同封すること。	作曲コースを受験する者		
⑱ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード 合格証書（コピー）※3	電子オルガンコースの受験者のうち取得者のみ。 （実技試験の免除を希望する場合のみ。）	△	△	△
⑲ジャズ・ポピュラーコース音源	CD を用意すること。 マイナスワン音源（CD）を使用して受験する者。	△	△	△

※1　②⑩⑪の書類にはすべて日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。

※2　１２年の課程以上の学歴を有している場合は、いずれの証明書も同封すること。

（例：大学卒業（見込または在学）の場合→高校卒業証明書・成績証明書 + 大学卒業（見込または在学）証明書・成績証明書）

※3　電子オルガンコースの受験者で、ヤマハ音楽能力検定制度エレクトーン演奏グレード取得者（2 年次編入は 5 級、3 年次編入は 4 級）は⑱を同封してください。実技試験が免除されます。

【注意事項】

○フリガナは本来の読みで記入してください。

○声楽または歌唱で受験する者は⑭を、映像・音楽クリエイションコースを受験する者は⑮を、映像音楽コースを受験する者は⑯を、作曲コースを受験する者は⑰を必ず同封してください。

○ジャズ・ポピュラーコースでマイナスワン音源（CD）を使用して受験する者は⑲を同封してください。

○実技試験がある者は志望コース欄に実技名を記入してください。（ただし、ピアノコースと声楽コースを除く）

○出願書類に不正な記入をした場合は、入学許可後であっても合格の認定を取り消すことがあります。

○提出された書類・資料等は、原則として返却いたしません。

学部 1 年次入学試験 コース別試験課題

すべての実技試験において、演奏を途中で切る場合があります。

◆ピアノコース

①実技 次の課題曲Ⅰ、Ⅱを演奏する。※すべて暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

課題曲Ⅰ 下記の曲①～⑧より任意の 1 曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲 目	作 曲 者
①	50 番練習曲 op.740	Czerny
②	60 番練習曲 op.365	Czerny
③	60 Etudes	Cramer=Bülow
④	Gradus ad Parnassum（Tausig 編）	Clementi
⑤	24 Studies for the piano op.70	Moscheles
⑥	15 Etudes op.72	Moszkowski
⑦	12 Etudes op.10	Chopin
⑧	12 Etudes op.25	Chopin

※⑦op.10 No.6 ⑧op.25 No.7 を除く。

課題曲Ⅱ 任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

※上記課題曲Ⅰの①～⑧は除く。自作曲は除く。

◆管楽コース

①実技 任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

フルート
オーボエ
クラリネット
バス・クラリネット
ファゴット
サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可）
ホルン
トランペット
トロンボーン
バス・トロンボーン
ユーフォニアム
テューバ

◆弦楽コース

①実技 ※伴奏はなし。

ヴァイオリン ※いずれも暗譜で演奏すること。

（1）C.Flesh：Scale System より C dur №5 を冒頭から 9 小節を演奏する。

※テンポ ♩.＝69 前後で演奏すること。
※ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
※Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

（2）任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

※エチュード、自作曲は除く。

ヴィオラ ※楽譜は見てもよい。

（1）音階：譜例（P.33 参照）の通り音階を演奏する。

※任意の速度で演奏すること。

（2）任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

チェロ ※楽譜は見てもよい。

（1）音階：譜例（P.33 参照）の通り音階を演奏する。

※任意の速度で演奏すること。

（2）任意の独奏曲、または練習曲 1 曲を演奏する。

コントラバス　※楽譜は見てもよい。

（1）音階：譜例（Ｐ.33 参照）に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を１つ演奏する。

※譜例のリズム型で演奏し、２オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。

（2）任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

ハープ　※いずれも暗譜で演奏すること。繰り返しはしないこと。

（1）N.Ch.Bochsa の練習曲より任意の１曲を演奏する。

※Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

（2）任意の独奏曲１曲を演奏する。

◆打楽コース

①実技　※伴奏はなし。

マリンバ　※いずれも暗譜で演奏すること。

（1）Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone.Marimba.Vibraphone（チャペル版）Ⅰ、ⅩⅡ、ⅩⅢ、ⅩⅦ、ⅩⅩⅡより任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

（2）任意の独奏曲１曲を演奏する。

小太鼓　※楽譜は見てもよい。

（1）１つ打ち、２つ打ち、５つ打ち、７つ打ち、９つ打ちより、当日、本学が指定する。

（2）任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。

◆邦楽コース

①実技

箏　（1）唄を伴う任意の１曲を暗譜で演奏する。

三味線（長唄三味線）

（1）三代目　杵屋正治郎作曲「娘道成寺」（新合方）を暗譜で演奏する。

（2）任意の１曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。

尺　八　一尺八寸管（Ｄ管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。

（1）諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を演奏する。

（2）任意の独奏曲を２分程度演奏する。

◆声楽コース

①実技

任意の声楽曲２曲を演奏する。

※原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）

※アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。

（例：歌劇「セビリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）

※暗譜で歌うこと。

（注）**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実技

次のいずれか１つを選び、受験すること。

ジャズダンス

３分程度の自由曲を踊る。

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

バレエ

クラシックバレエからヴァリエーション（３分程度）を踊る。

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

コンテンポラリィダンス（現代舞踊）

5～6 分程度の自由曲を踊る。

テーマ：「私の夢」

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツを着用のこと。

日本舞踊

当日、試験官の指示に従い、５分程度踊る。

※服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

演　技

５分以内の自由演技を行う。

（例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技）

※服装：自由。

歌　唱

３分程度の自由曲１曲を演奏する。

（歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）

※暗譜で歌うこと。（注）**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6の⑭参照）を願書に添えて提出すること。 伴奏者同伴の必要はなし。

◆作曲･音楽クリエイションコース

下記の A または B より選択して受験する。

A

① 実技

（1）編成の違う自作品の楽譜(コピー可)を 2 曲提出する。

※出願書類に同封のこと。

※提出された楽譜は返却しない。

（2）口頭試問

B

① 実技

（1）出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。

※出願書類に同封のこと。

※曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。

※曲の長さは７分以内とする。

※提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

（2）口頭試問

② 任意楽器演奏

任意の独奏曲１曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。

◆電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード５級（※）以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を１曲演奏する。

（※）参考曲集例　新エレクトーン・レパートリー5 級 Vol.1～Vol.3

※試験会場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C，ELS-02X（バイタライズ），EL-900m，Roland AT-80S

※レジストレーションは自由。ただし、試験会場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。

※MDR の使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

※暗譜で演奏のこと。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード５級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード５級取得者は、出願時に**合格証書のコピー**（Ｐ.6 の⑱参照）を同封してください。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。

※クラシックに限る。出版されている曲のみ。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆ジャズ・ポピュラーコース

①実技

ピアノ

ドラム

ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）

ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）

サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）

トランペット

トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

(1) 任意の１曲を、マイナスワン音源（CD）を使用し演奏する。

※マイナスワン音源（CD）は各自用意し、願書に添えて提出すること。

(2)Moritat(Bertolt Brecht/Kurt Weill)を演奏する。

※楽譜および音源は、大学に請求してください。

請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター　フリーダイヤル 0120-115-796

ヴォーカル

任意の１曲を演奏する。

※演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスワン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】

※マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

◆音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲１曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。

※伴奏者同伴の必要はなし。

※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

※楽譜は見てもよい。

◆音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲 1 曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。
※伴奏者同伴の必要はなし。
※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。
※楽譜は見てもよい。

◆音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲 1 曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（P.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。
※伴奏者同伴の必要はなし。
※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。
※楽譜は見てもよい。

◆音楽ビジネスコース

①作文

字数は 800 字程度(P.33 例題参照)。
試験時間は 90 分。

２年次編入学試験　コース別試験課題

すべての実技試験において、演奏を途中で切る場合があります。

◆ピアノコース

①実技　次の課題曲Ⅰ、Ⅱを演奏する。※すべて暗譜のこと。繰り返しはしない。

課題曲Ⅰ　下記の曲①～⑧より任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

番号	曲　目	作 曲 者
①	50 番練習曲　op.740	Czerny
②	60 番練習曲　op.365	Czerny
③	60　Etudes	Cramer=Bülow
④	Gradus ad Parnassum（Tausig 編）	Clementi
⑤	24　Studies for the piano　op.70	Moscheles
⑥	15　Etudes　op.72	Moszkowski
⑦	12　Etudes　op.10	Chopin
⑧	12　Etudes　op.25	Chopin

※⑦op.10 No.6　⑧op.25 No.7 を除く。

課題曲Ⅱ　任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。

※上記課題曲Ⅰの①～⑧は除く。自作曲は除く。

◆管楽コース

①実技

任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

フルート
オーボエ
クラリネット
バス・クラリネット
ファゴット
サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可）
ホルン
トランペット
トロンボーン
バス・トロンボーン
ユーフォニアム
テューバ

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆弦楽コース

①実技　※伴奏はなし。

ヴァイオリン　※いずれも暗譜で演奏すること。

（1）C.Flesh：Scale System よりC dur №5 を冒頭から９小節を演奏する。

※テンポ ♩ ＝69 前後で演奏すること。
※ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
※Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

（2）任意の独奏曲１曲を演奏する。

※エチュード、自作曲は除く。

ヴィオラ　※楽譜は見てもよい。

（1）音階：譜例（P.33 参照）の通り音階を演奏する。
※任意の速度で演奏すること。

（2）任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

チェロ　※楽譜は見てもよい。

（1）音階：譜例（P.33 参照）の通り音階を演奏する。
※任意の速度で演奏すること。

（2）任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

コントラバス　※楽譜は見てもよい。

（1）音階：譜例（P.33 参照）に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を１つ演奏する。
※譜例のリズム型で演奏し、２オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。

（2）任意の独奏曲、または練習曲１曲を演奏する。

ハープ　※いずれも暗譜で演奏すること。繰り返しはしないこと。

（1）N.Ch.Bochsa の練習曲より任意の１曲を演奏する。
※Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

（2）任意の独奏曲１曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆打楽コース

①実技

マリンバ　※いずれも暗譜で演奏すること。

（1）Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone.Marimba. Vibraphone（チャペル版）Ⅰ、ⅩⅡ、ⅩⅢ、ⅩⅦ、ⅩⅩⅡより任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

（2）任意の独奏曲１曲を演奏する。

小太鼓　※楽譜は見てもよい。

（1）１つ打ち、２つ打ち、５つ打ち、７つ打ち、９つ打ちより、当日、本学が指定する。

（2）任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆邦楽コース

①実技

箏　（1）唄を伴う任意の１曲を暗譜で演奏する。

三味線（長唄三味線）

（1）三代目　杵屋正治郎作曲「娘道成寺」（新合方）を暗譜で演奏する。

（2）任意の１曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。

尺 八　一尺八寸管（D管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。

（1）諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を演奏する。

（2）任意の独奏曲を２分程度演奏する。

◆声楽コース

①実技

任意の声楽曲を３分程度演奏する。（１曲でなくてもよい。）

※原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）

※アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セビリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）

※暗譜で歌うこと。

（注）**ピアノ伴奏譜**（P.6の⑭参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実技

次のいずれか１つを選び、受験すること。

ジャズダンス

３分程度の自由曲を踊る。

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

バレエ

クラシックバレエからヴァリエーション（３分程度）を踊る。

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

コンテンポラリィダンス（現代舞踊）

5～6 分程度の自由曲を踊る。

テーマ：「私の夢」

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツを着用のこと。

日本舞踊

当日、試験官の指示に従い、５分程度踊る。

※服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

演　技

５分以内の自由演技を行う。

（例：パントマイム、任意の台本等を読む、その他自由演技）

※服装：自由。

歌　唱

３分程度の自由曲１曲を演奏する。

（歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）

※暗譜で歌うこと。

（注）**ピアノ伴奏譜**（P.6の⑭参照）を願書に添えて提出すること。 伴奏者同伴の必要はなし。

◆作曲コース

①実技

（1）編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を２曲提出する。

※出願書類に同封のこと。

※提出された楽譜は返却しない。

（2）口頭試問

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆映像音楽コース

①実技

（1）出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲をオーディオ CD で提出する。

※出願書類に同封のこと。

※曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。

※4 パート以上、3 分以上の構成とする。

※提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

（2）口頭試問

②任意楽器演奏

任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。

◆電子オルガンコース

①実技

ヤマハエレクトーン５級（※）以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を、1 曲演奏する。

（※）参考曲集例　新エレクトーン・レパートリー５級 Vol.1～Vol.3

※試験会場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C, ELS-02X（バイタライズ）, EL-900m, Roland AT-80S

※レジストレーションは自由。ただし、試験会場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。

※MDR の使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

※暗譜で演奏のこと。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード 5 級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード 5 級取得者は、出願時に**合格証書のコピー**（Ｐ.6 の⑱参照）を同封してください。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲 1 曲を演奏する。

※クラシックに限る。出版されている曲のみ。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆ジャズ・ポピュラーコース

①実技

ピアノ

ドラム

ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）

ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）

サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）

トランペット

トロンボーン

下記の（1）または（2）を選択し、演奏する。

（1）任意の 1 曲を、マイナスワン音源（CD）を使用し演奏する。

※マイナスワン音源（CD）は各自用意すること。

（2）Moritat(Bertolt Brecht/Kurt Weill)を演奏する。

※楽譜および音源は、大学に請求してください。

請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター　フリーダイヤル　0120-115-796

ヴォーカル

任意の 1 曲を演奏する。

※演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスワン音源（CD）、アカペラ、弾き歌い】

※マイナスワン音源（CD）は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

◆音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲 1 曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏楽譜**（P.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。

※伴奏者同伴の必要はなし。

※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

※楽譜は見てもよい。

◆音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲 1 曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏楽譜**（P.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。

※伴奏者同伴の必要はなし。

※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

※楽譜は見てもよい。

◆音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲 1 曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏楽譜**（P.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。

※伴奏者同伴の必要はなし。

※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

※楽譜は見てもよい。

◆音楽ビジネスコース

①作文

字数は 800 字程度。(P.33 例題参照) 試験時間は 90 分。

３年次編入学試験　コース別試験課題

すべての実技試験において、演奏を途中で切る場合があります。

◆ピアノコース

①実技

任意の独奏曲 1 曲を演奏する。

※暗譜で演奏すること。

◆管楽コース

①実技

任意の独奏曲または練習曲 1 曲を演奏する。

※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

フルート
オーボエ
クラリネット
バス・クラリネット
ファゴット
サクソフォーン（ソプラノ、テナー、バリトンも可）
ホルン
トランペット
トロンボーン
バス・トロンボーン
ユーフォニアム
テューバ

◆弦楽コース

①実技　※伴奏はなし。

ヴァイオリン　※いずれも暗譜で演奏すること。

（1）C.Flesh：Scale System より C dur №5 を冒頭から９小節を演奏する。

※テンポ ♩.＝69 前後で演奏すること。
※ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
※Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

（2）任意の独奏曲１曲を演奏する。

※エチュード、自作曲は除く。

ヴィオラ　（1）任意の独奏曲１曲を暗譜で演奏する。

チェロ　（1）任意の独奏曲１曲を暗譜で演奏する。

コントラバス　（1）任意の独奏曲１曲を暗譜で演奏する。

ハープ　※いずれも暗譜で演奏すること。繰り返しはしないこと。

（1）任意の独奏曲１曲を演奏する。

（2）N.Ch.Bochsa の練習曲より任意の１曲を演奏する。

※Alphonse Leduc 社出版の楽譜を用いること。

◆打楽コース

①実　技　※伴奏はなし。

マリンバ　※いずれも暗譜で演奏すること。

（1）Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone.Marimba. Vibraphone（チャペル版）Ⅰ、ⅩⅡ、ⅩⅢ、ⅩⅦ、ⅩⅩⅡより任意の１曲を各自が選択し、演奏する。

（2）任意の独奏曲１曲を演奏する。

小太鼓　※楽譜は見てもよい。

（1） 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち、9つ打ちより、当日、本学が指定する。

（2） 任意の独奏曲または練習曲１曲を演奏する。

◆邦楽コース

①実 技

箏　　（1）吉沢検校作曲　松阪検校補作「秋の曲（本手）」を暗譜で演奏する。

三味線（長唄三味線）

（1）任意の１曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。

尺八　　一尺八寸管（Ｄ管）を使用のこと。流派は問わない。

（1）任意の１曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。

◆声楽コース

①実 技

任意の声楽曲を４分程度演奏する。（１曲でなくてもよい。）

※原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）

※アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セビリアの理髪師」から「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど）

※暗譜で歌うこと。

(注)**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆舞踊・演劇・ミュージカルコース

①実 技

次のいずれか１つを選び、受験すること。

ジャズダンス

３分程度の自由曲を踊る。

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツ、ダンスシューズを着用のこと。

バレエ

クラシックバレエからヴァリエーション（３分程度）を踊る。

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツ、バレエシューズを着用のこと。

コンテンポラリィダンス（現代舞踊）

5～6 分程度の自由曲を踊る。

テーマ：「私の夢」

※音楽（ＣＤ）は各自で用意すること。

※服装：レオタード、タイツを着用のこと。

日本舞踊

当日、試験官の指示に従い、５分程度踊る。

※服装：浴衣、半巾帯、足袋を着用のこと。

演　技

（1）自由課題：５分以内の自由演技を行う。

（例：パントマイム、任意の台本を読む、その他自由演技）

※服装：自由。

（2）事前課題：願書提出後、本学より課題を送ります。

②歌　唱

自由曲１曲を演奏する。

（歌曲、オペラまたはオラトリオのアリア、オペレッタ、ミュージカルのソロ曲、その他）

※暗譜で歌うこと。

（注）**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

◆作曲コース

①実技

（1）編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を２曲提出する。

※出願書類に同封のこと。

※提出された楽譜は返却しない。

（2）口頭試問

◆映像音楽コース

①実　技

（1）出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲を、オーディオ CD で提出する。

※曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。

※8 パート以上、４分以上の構成とする。

※提出作品には受験者の氏名、曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

（2）口頭試問

②任意楽器演奏

任意の独奏曲１曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目名を提出すること。

（本学にない楽器の場合は受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。

◆電子オルガンコース

①実技

任意の独奏曲１曲を演奏する。

※試験場での使用機種は、YAMAHA　STAGEA ELS-02C,ELS-02X(バイタライズ),EL-900m、Roland　AT-80S。

※レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめ USB フラッシュメモリー、フロッピーディスクなどで用意すること。

※ＭＤＲの使用範囲は演奏データを含まないものとする。

※暗譜で演奏すること。

ヤマハ音楽能力検定制度　エレクトーン演奏グレード４級取得者は実技試験が免除されます。

※上記のグレード４級取得者は、出願時に**合格証書のコピー**（Ｐ.6 の⑱参照）を同封してください。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲１曲を演奏する。

※クラシックに限る。出版されている曲のみ。　※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

◆ジャズ・ポピュラーコース

①実技

ピアノ

ドラム

ベース（アコースティック・エレクトリックを問わない）

ギター（アコースティック・エレクトリックを問わない）

サクソフォーン（ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない）

トランペット

トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

(1) 任意の１曲を、マイナスワン音源（CD）を使用し演奏する。

※マイナスワン音源（CD）は各自用意すること。

(2)Moritat(Bertolt Brecht/Kurt Weill)を演奏する。

※楽譜および音源は、大学に請求してください。

請求先：名古屋音楽大学　入試・広報センター　フリーダイヤル 0120-115-796

ヴォーカル

任意の１曲を、マイナスワン音源（CD）を使用し演奏する。

※マイナスワン音源（CD）は各自用意すること。

◆音楽教育コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲１曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。

※伴奏者同伴の必要はなし。

※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

※楽譜は見てもよい。

②小論文

字数は 1000 字程度（Ｐ.33 例題参照）　試験時間は 90 分。

◆音楽療法コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲１曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。

※伴奏者同伴の必要はなし。

※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

※楽譜は見てもよい。

②小論文

字数は 1000 字から 1400 字程度（Ｐ.33 例題参照）　試験時間は 90 分。

◆音楽総合コース

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲１曲を演奏する。

※声楽で受験する場合、**ピアノ伴奏譜**（Ｐ.6 の⑭参照）を願書に添えて提出すること。

※伴奏者同伴の必要はなし。

※管・弦・打・邦楽器で受験する場合、無伴奏で演奏すること。

※暗譜で演奏すること。

◆音楽ビジネスコース

①作文

字数は 800 字程度（Ｐ.33 例題参照）　試験時間は 90 分。

大学院　音楽研究科　入学試験要項

■募集定員

音楽研究科	器楽専攻〔ピアノ・オルガン・チェンバロ・弦楽・管楽・打楽・邦楽・ジャズ（ヴォーカル以外）〕	若干名
	声楽専攻〔声楽・ジャズ（ヴォーカル）〕	若干名
	作曲専攻〔作曲・映像音楽・電子オルガン〕	若干名
	音楽教育学専攻〔音楽教育学・音楽学・音楽療法〕	若干名

■出願資格

以下の条件を満たす者。

（1）日本国籍以外の国籍を有する者。

（2）次のいずれかの条件を満たす者。

①日本において、大学を卒業した者、または2018年3月31日までに卒業見込みの者。

②外国において、学校教育における16年以上の課程を修了した者及び2018年3月31日までに修了見込みの者。

③その他本学において、上記の者と同等以上の学力があると認めた者。

（3）「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の資格を有する者。または、大学入学後に「留学」の資格に変更可能な者。

（4）入学後は本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。

（5）独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験（日本語）」、または財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」を受験した者。（ただし、日本の大学・短期大学に在籍した者を除く。）

■入学試験日程

	器楽・声楽・作曲（電子オルガン）・音楽教育学専攻	作曲専攻（作曲・映像音楽）
出願期間	2017年10月2日（月）~11月8日（水）　郵送（書留速達）・ 必着	
1次選考	書類選考	
1次選考発表	2017年11月17日（金）　発送	
2次選考	2017年12月2日（土）専攻科目試験・面接	作品提出　2017年11月20日（月）~11月28日（火）
合格発表	2017年12月8日（金）　発送	
	本人宛に通知を発送します。 ※電話による問い合わせには一切応じません。	
入学手続	2017年12月11日（月）~12月26日（火）　一括納入	
	※期間内に手続きを完了したものに入学を許可します。 ※手続きの方法等については合格発表時に明示します。	

■選考方法

1次選考	書類審査… 出願書類、並びに「日本留学試験」または「日本語能力試験」の成績によって審査を行います。	
2次選考	試験科目	専攻により課題が異なりますので確認をしてください。（P.23～25 参照）
	面接	全専攻

■出願書類

出願書類	
①入学試験志願票	本学所定用紙　（裏面に「⑨振込証明書」を貼付してください。）
②推薦書 ※1	出身大学の学長（学校長）または担当教員が作成した推薦書を提出してください。
③整理票	本学所定用紙　（受験票と切り離さないでください。）
④受験票	本学所定用紙　（整理票と切り離さないでください。）
⑤受験曲目記入票	本学所定用紙 **※受験曲目は必ず控え（コピー）をとっておいてください。**
⑥パスポートコピー	氏名及び在留資格・在留期間・顔写真記載のページをコピーしてください。
⑦写真（3 枚）	正面上半身、脱帽、背景なしで出願３ヶ月以内に撮影したもの（縦４ｃｍ×横３ｃｍ）を **入学試験志願票・整理票・受験票**の所定欄に貼付してください。
⑧受験返信用封筒	本学所定のものに自分の住所・氏名等を明記し、本学から自宅までの代金分の切手を貼付してください。
⑨振込証明書	入学試験志願書の裏面に貼付してください。
⑩最終出身学校の卒業（見込） 証明書 ※1	出身大学の学長（学校長）または学部長が作成したもの。 ※2
⑪最終出身学校の成績証明書または 単位取得（見込）証明書 ※1	出身大学の学長（学校長）または学部長が作成したもの。 ※2
⑫「日本留学試験」または 「日本語能力試験」の成績通知	成績通知書は原本（オリジナル）を提出してください。 原本は確認のうえ返却します。
⑬個人調書（履歴書）	本学所定用紙
⑳研究計画書 （音楽教育学専攻志望者のみ）	本学所定用紙
㉑受験許可書	様式は任意。在職者・他大学院に在籍中の者のみ提出してください。
㉒ジャズ・マイナスワン音源(CD)・楽譜	マイナスワン音源を使用して受験する者は CD、セッションする者は楽譜を提出してください。

※1　②⑩⑪の書類にはすべて日本語訳（訳者の署名入りのこと）を添えて提出してください。
※2　本学卒業（見込）生に限り、⑩、⑪は不要です。

【注意事項】
○フリガナは本来の読みで記入してください。
○出願書類に不正な記入をした場合は、入学許可後であっても合格の認定を取り消すことがあります。
○提出された書類・資料等は、原則として返却いたしません。

■専門試験科目

<table>
<tr><th colspan="2">専攻</th><th colspan="2">試験科目の概要および課題曲</th></tr>
<tr><td rowspan="6">器楽</td><td>ピアノ</td><td colspan="2">下記の課題を演奏する。（ 1 ）、（ 2 ）の合計時間が 20 分以上であること。
（ 1 ）Etude
Chopin op.10（No.3、No.6 を除く）
op.25（No.7 を除く）
Prokofiev、Liszt、Rachmaninov、Debussy、Scriabin から任意の 1 曲
（ 2 ）自由曲
複数作品、複数作曲家可。
※繰り返しはしない。ただし Beethoven：Sonata の D.C. はあり。
※いずれも暗譜で演奏のこと。</td></tr>
<tr><td>オルガン</td><td colspan="2">下記（ 1 ）及び（ 2 ）のいずれかを演奏する。
（ 1 ）パイプオルガンのみで以下の 3 曲を 20 分程度のプログラムにまとめて演奏する。（楽譜は見てもよい）
J. S. Bach「ペダル付きのコーラル作品」より任意の 1 曲
J. S. Bach「プレリュードとフーガ」より任意の 1 曲
19 世紀以降の任意の小品 1 曲
（ 2 ）パイプオルガンとピアノの両方を使用し、以下の 3 ～ 4 曲を 20 分程度のプログラムにまとめて演奏する。
＊オルガン演奏（楽譜は見てもよい）
J. S. Bach「ペダル付きのコーラル作品」より任意の 1 ～ 2 曲
＊ピアノ演奏（暗譜で演奏のこと）
J. S. Bach「平均律クラヴィーア曲集」第 1 巻、第 2 巻より任意のフーガを 1 曲
F. Chopin「エチュード」より任意の 1 曲
※オルガンは試験前に試奏できる。 ※アシスタントを必要とする場合は事前に申し出ること。</td></tr>
<tr><td>チェンバロ</td><td colspan="2">下記課題（ 1 ）、（ 2 ）より各々1 曲を選択し、演奏する。及び（ 3 ）を演奏する。
（ 1 ）L. Couperin
Prélude à l'imitation de Mr Froberger
Passacaille in c
Passacaille in g
（ 2 ）J. S. Bach
Partita 4 BWV828（Ouvertüre, Allemande, Gigue）
Französische Ouvertüre BWV831（Ouvertüre, Bourrée I & II, Echo）
（ 3 ）通奏低音（数字付き低音）の実演。
課題は当日、配布する。
※繰り返しはしない。ただしロンド形式や舞曲での D.C. はあり。 ※譜面を見て弾くこと。</td></tr>
<tr><td>弦楽</td><td>ヴァイオリン
ヴィオラ
チェロ
コントラバス
ハープ
クラシックギター
マンドリン</td><td>下記を演奏する。
任意の独奏曲（ソナタを含む） 1 曲を演奏すること。
※暗譜で演奏のこと。
※繰り返しはしない。
※伴奏者は同伴のこと。</td></tr>
<tr><td>管楽</td><td>フルート
オーボエ
クラリネット
バス・クラリネット
ファゴット
サクソフォーン
ホルン
トランペット
トロンボーン
バス・トロンボーン
ユーフォニアム
テューバ</td><td>下記を演奏する。
任意の独奏曲を 20 分程度演奏すること。
※曲数は複数曲になってもよい。
※楽譜は見てもよい。
※伴奏者は同伴のこと。</td></tr>
</table>

専攻			試験科目の概要および課題曲
器楽	打楽	マリンバ	下記を演奏する。 任意の独奏曲 1 曲を全曲演奏すること。 ※暗譜で演奏のこと。 ※伴奏者は同伴のこと。
		パーカッション	下記を演奏する。 任意の独奏曲 1 曲を全曲演奏すること。 ※楽譜は見てもよい。 ※伴奏者は同伴のこと。 ※楽譜を提出のこと。
	邦楽	箏曲	下記の課題を演奏すること。ただし、箏、三絃のどちらでも可。 「萩の露」 ※暗譜で演奏のこと。
		尺八	下記の課題（1）、（2）、（3）、（4）より 1 曲を選択し、演奏すること。 （1）「古典本曲　神保三谷」…神保政之助　撰 （2）「都山流本曲　岩清水」…作曲　中尾都山（初代） （3）「無伴奏尺八組曲　第二番」…作曲　唯是震一 （4）「独奏尺八の為の　月の光の神があおたもの影の上をいく」…作曲　岡田京子 ※楽譜は見てもよい。
	ジャズ	ピアノ ベース ギター サクソフォーン トランペット トロンボーン	下記の課題曲（1）、（2）を演奏すること。 （1）ジャズスタンダードの中から、任意の 1 曲を選択し、ソロ、または、受験者が用意した マイナスワン音源（CD）をバックに演奏する。 講師とのセッションも可能（応相談）。 （2）キーが F か B ♭のブルースを講師とセッションする。 ※事前に曲目、楽譜、使用する場合はマイナスワン音源（CD）を提出すること。
		ドラム	下記の課題曲（1）、（2）を演奏すること。 （1）ジャズスタンダードの中から、任意の 1 曲を選択し、ソロ、または、受験者が用意した マイナスワン音源（CD）をバックに演奏する。 講師とのセッションも可能（応相談）。 （2）ジャズスタンダードの中から、任意の 1 曲を選択し、ピアノとベースの講師とトリオ形式で セッションする。 ※事前に曲目、楽譜、使用する場合はマイナスワン音源（CD）を提出すること。
声楽	声楽		下記の課題曲（1）、（2）を計 10 分程度演奏すること。 （1）歌曲（原語で演奏すること） （2）オペラまたはオラトリオよりアリア、またはそれに準ずる作品（原語・原調で演奏すること） ※（2）において慣習的に行われるものはよい。 〔例〕「ルサルカ」「売られた花嫁」等のドイツ語歌唱、「セヴィリアの理髪師」から 「今の歌声は」をヘ長調で歌うなど。 ※曲数は（1）、（2）においてそれぞれ複数曲になってもよい。 ※いずれも暗譜で演奏のこと。 ※伴奏者は同伴のこと。
	ジャズ	ヴォーカル	下記を演奏する。 ジャズスタンダードの中から、任意の曲を 3 曲以上選択し 15 分以内で演奏する。 ソロ、または受験者が用意したマイナスワン音源（CD）をバックに演奏する。 ※事前に曲目、マイナスワン音源（CD）を提出すること。

専攻		試験科目の概要および課題曲
作曲	作曲	1．作品提出 自作品を 8 重奏以上のアンサンブルからオーケストラ作品まで 1 曲を期日までに提出すること。 2．口頭試問 提出された作品についての口頭試問を行う。
	映像音楽	1．作品提出 任意のシーケンスソフトを用いて制作した自作曲または、自編曲を提出すること。 ※曲の長さは 5 分以上 ※オーディオ CD により提出すること。 ※使用ソフト及び機器を詳記した資料を添付すること。 2．口頭試問 提出された作品について口頭試問を行う。
	電子オルガン	1．任意の独奏曲 1 曲を演奏すること。（自作曲または、自編曲に限る） ※暗譜で演奏のこと。 ※当日、楽譜を提出すること。 2．当日提示されたモチーフを 32 小節程度に発展し演奏する。（予見時間 10 分、試弾は不可）
音楽教育学		1．研究計画書の提出 専門分野に関する、入学後の研究計画書（400 字詰原稿用紙 5 枚以上、書式は自由）を提出する。 2．筆記試験 音楽教育学・音楽学・音楽療法に関する小論文（ 2 時間） 3．実技演奏 任意楽器による独奏曲の演奏、または任意の独唱曲を演奏する。 ※あらかじめ楽器名と曲名を提出すること。 （楽器は原則として本人の持込みとする。ただし大型の楽器等については本学に問い合わせること） ※演奏時間は 5 分程度とする。 ※楽譜は見てもよい。 ※伴奏者は同伴のこと。 4．口頭試問 提出された研究計画書を中心に、入学後の研究計画等についての口頭試問を行う。

■授業科目一覧（2017 年参考）

●器楽専攻(ピアノ)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
ピアノ演奏研究Ⅰ	2		22単位
ピアノ演奏研究Ⅱ	2		
ピアノ演奏研究Ⅲ	2		
ピアノ演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
ピアノ作品研究AⅠ	2		
ピアノ作品研究AⅡ	2		
ピアノ作品研究AⅢ	2		
ピアノ作品研究AⅣ	2		
ピアノ作品研究BⅠ	2		
ピアノ作品研究BⅡ	2		
ピアノ作品研究BⅢ		2	8単位以上
ピアノ作品研究BⅣ		2	
ピアノ特殊研究A		2	
ピアノ特殊研究B		2	
ピアノ特殊研究C		2	
ピアノ特殊研究D		2	
ピアノ特殊研究E		2	
ピアノ特殊研究F		2	
ピアノ特殊研究G		2	
ピアノ特殊研究H		2	
ピアノ合奏演習Ⅰ		2	
ピアノ合奏演習Ⅱ		2	
ピアノ合奏演習Ⅲ		2	
ピアノ合奏演習Ⅳ		2	
歌曲伴奏研究Ⅰ		2	
歌曲伴奏研究Ⅱ		2	
歌曲伴奏研究Ⅲ		2	
歌曲伴奏研究Ⅳ		2	

●器楽専攻(オルガン)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
オルガン演奏研究Ⅰ	2		18単位
オルガン演奏研究Ⅱ	2		
オルガン演奏研究Ⅲ	2		
オルガン演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
オルガン作品研究Ⅰ	2		
オルガン作品研究Ⅱ	2		
オルガン作品研究Ⅲ	2		
オルガン作品研究Ⅳ	2		
オルガン特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
オルガン特殊研究Ⅱ		2	
オルガン特殊研究Ⅲ		2	
オルガン特殊研究Ⅳ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅰ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅱ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅲ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅳ		2	

●器楽専攻(チェンバロ)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
チェンバロ演奏研究Ⅰ	2		18単位
チェンバロ演奏研究Ⅱ	2		
チェンバロ演奏研究Ⅲ	2		
チェンバロ演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
チェンバロ作品研究Ⅰ	2		
チェンバロ作品研究Ⅱ	2		
チェンバロ作品研究Ⅲ	2		
チェンバロ作品研究Ⅳ	2		
チェンバロ特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
チェンバロ特殊研究Ⅱ		2	
チェンバロ特殊研究Ⅲ		2	
チェンバロ特殊研究Ⅳ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅰ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅱ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅲ		2	
バロックアンサンブル演習Ⅳ		2	

●器楽専攻(弦楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
弦楽演奏研究Ⅰ	2		18単位
弦楽演奏研究Ⅱ	2		
弦楽演奏研究Ⅲ	2		
弦楽演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
弦楽作品研究Ⅰ	2		
弦楽作品研究Ⅱ	2		
弦楽作品研究Ⅲ	2		
弦楽作品研究Ⅳ	2		
弦楽特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
弦楽特殊研究Ⅱ		2	
弦楽特殊研究Ⅲ		2	
弦楽特殊研究Ⅳ		2	
弦楽合奏演習Ⅰ		2	
弦楽合奏演習Ⅱ		2	
弦楽合奏演習Ⅲ		2	
弦楽合奏演習Ⅳ		2	

●器楽専攻（管楽）

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
管楽演奏研究Ⅰ	2		18単位
管楽演奏研究Ⅱ	2		
管楽演奏研究Ⅲ	2		
管楽演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
管楽作品研究Ⅰ	2		
管楽作品研究Ⅱ	2		
管楽作品研究Ⅲ	2		
管楽作品研究Ⅳ	2		
管楽特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
管楽特殊研究Ⅱ		2	
管楽特殊研究Ⅲ		2	
管楽特殊研究Ⅳ		2	
管楽合奏演習Ⅰ		2	
管楽合奏演習Ⅱ		2	
管楽合奏演習Ⅲ		2	
管楽合奏演習Ⅳ		2	

●器楽専攻（邦楽）

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
邦楽演奏研究Ⅰ	2		18単位
邦楽演奏研究Ⅱ	2		
邦楽演奏研究Ⅲ	2		
邦楽演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
邦楽作品研究Ⅰ	2		
邦楽作品研究Ⅱ	2		
邦楽作品研究Ⅲ	2		
邦楽作品研究Ⅳ	2		
邦楽特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
邦楽特殊研究Ⅱ		2	
邦楽特殊研究Ⅲ		2	
邦楽特殊研究Ⅳ		2	
邦楽合奏演習Ⅰ		2	
邦楽合奏演習Ⅱ		2	
邦楽合奏演習Ⅲ		2	
邦楽合奏演習Ⅳ		2	

●器楽専攻（打楽）

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
打楽演奏研究Ⅰ	2		18単位
打楽演奏研究Ⅱ	2		
打楽演奏研究Ⅲ	2		
打楽演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
打楽作品研究Ⅰ	2		
打楽作品研究Ⅱ	2		
打楽作品研究Ⅲ	2		
打楽作品研究Ⅳ	2		
打楽特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
打楽特殊研究Ⅱ		2	
打楽特殊研究Ⅲ		2	
打楽特殊研究Ⅳ		2	
打楽合奏演習Ⅰ		2	
打楽合奏演習Ⅱ		2	
打楽合奏演習Ⅲ		2	
打楽合奏演習Ⅳ		2	

●器楽専攻（ジャズ／ヴォーカル以外）

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
ジャズ演奏研究Ⅰ	2		18単位
ジャズ演奏研究Ⅱ	2		
ジャズ演奏研究Ⅲ	2		
ジャズ演奏研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
ジャズアンサンブル演習Ⅰ	2		
ジャズアンサンブル演習Ⅱ	2		
ジャズアンサンブル演習Ⅲ	2		
ジャズアンサンブル演習Ⅳ	2		
ジャズ特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
ジャズ特殊研究Ⅱ		2	
ジャズ特殊研究Ⅲ		2	
ジャズ特殊研究Ⅳ		2	
ジャズ作品研究Ⅰ		2	
ジャズ作品研究Ⅱ		2	
ジャズ作品研究Ⅲ		2	
ジャズ作品研究Ⅳ		2	

●声楽専攻(声楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
声楽研究Ⅰ	2		18単位
声楽研究Ⅱ	2		
声楽研究Ⅲ	2		
声楽研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
声楽作品研究Ⅰ	2		
声楽作品研究Ⅱ	2		
重唱研究Ⅰ	2		
重唱研究Ⅱ	2		
オペラ演習Ⅰ		2	12単位以上
オペラ演習Ⅱ		2	
オペラ演習Ⅲ		2	
オペラ演習Ⅳ		2	
声楽特殊研究A		2	
声楽特殊研究B		2	
声楽特殊研究C		2	
声楽特殊研究D		2	
声楽特殊研究E		2	
声楽特殊研究F		2	
声楽作品研究Ⅲ		2	
声楽作品研究Ⅳ		2	
重唱研究Ⅲ		2	
重唱研究Ⅳ		2	

●作曲専攻(作曲)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
作曲研究Ⅰ	2		18単位
作曲研究Ⅱ	2		
作曲研究Ⅲ	2		
作曲研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
作曲演習Ⅰ	2		
作曲演習Ⅱ	2		
作曲演習Ⅲ	2		
作曲演習Ⅳ	2		
作曲特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
作曲特殊研究Ⅱ		2	
作曲特殊研究Ⅲ		2	
作曲特殊研究Ⅳ		2	
作曲作品研究Ⅰ		2	
作曲作品研究Ⅱ		2	
作曲作品研究Ⅲ		2	
作曲作品研究Ⅳ		2	

●声楽専攻(ジャズ／ヴォーカル)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
ジャズヴォーカル研究Ⅰ	2		18単位
ジャズヴォーカル研究Ⅱ	2		
ジャズヴォーカル研究Ⅲ	2		
ジャズヴォーカル研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
ヴォーカルアンサンブル演習Ⅰ	2		
ヴォーカルアンサンブル演習Ⅱ	2		
ヴォーカルアンサンブル演習Ⅲ	2		
ヴォーカルアンサンブル演習Ⅳ	2		
ジャズ特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
ジャズ特殊研究Ⅱ		2	
ジャズ特殊研究Ⅲ		2	
ジャズ特殊研究Ⅳ		2	
ジャズ作品研究Ⅰ		2	
ジャズ作品研究Ⅱ		2	
ジャズ作品研究Ⅲ		2	
ジャズ作品研究Ⅳ		2	

●作曲専攻(映像音楽)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
映像音楽研究Ⅰ	2		18単位
映像音楽研究Ⅱ	2		
映像音楽研究Ⅲ	2		
映像音楽研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
映像音楽演習Ⅰ	2		
映像音楽演習Ⅱ	2		
映像音楽演習Ⅲ	2		
映像音楽演習Ⅳ	2		
映像音楽特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
映像音楽特殊研究Ⅱ		2	
映像音楽特殊研究Ⅲ		2	
映像音楽特殊研究Ⅳ		2	
映像音楽作品研究Ⅰ		2	
映像音楽作品研究Ⅱ		2	
映像音楽作品研究Ⅲ		2	
映像音楽作品研究Ⅳ		2	

●作曲専攻(電子オルガン)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
電子オルガン研究Ⅰ	2		18単位
電子オルガン研究Ⅱ	2		
電子オルガン研究Ⅲ	2		
電子オルガン研究Ⅳ	2		
学内リサイタル	2		
電子オルガン演習Ⅰ	2		
電子オルガン演習Ⅱ	2		
電子オルガン演習Ⅲ	2		
電子オルガン演習Ⅳ	2		
電子オルガン特殊研究Ⅰ		2	8単位以上
電子オルガン特殊研究Ⅱ		2	
電子オルガン特殊研究Ⅲ		2	
電子オルガン特殊研究Ⅳ		2	
電子オルガン作品研究Ⅰ		2	
電子オルガン作品研究Ⅱ		2	
電子オルガン作品研究Ⅲ		2	
電子オルガン作品研究Ⅳ		2	

●音楽教育学専攻(音楽学)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
音楽学研究Ⅰ	2		16単位
音楽学研究Ⅱ	2		
音楽学研究Ⅲ	2		
音楽学研究Ⅳ	2		
音楽学演習Ⅰ	2		
音楽学演習Ⅱ	2		
音楽学演習Ⅲ	2		
音楽学演習Ⅳ	2		
音楽教育学特講Ⅰ		2	4単位以上
音楽教育学特講Ⅱ		2	
音楽学特講Ⅰ		2	
音楽学特講Ⅱ		2	
音楽療法特講Ⅰ		2	
音楽療法特講Ⅱ		2	

●音楽教育学専攻(音楽教育学)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
音楽教育学研究Ⅰ	2		16単位
音楽教育学研究Ⅱ	2		
音楽教育学研究Ⅲ	2		
音楽教育学研究Ⅳ	2		
音楽教育学演習Ⅰ	2		
音楽教育学演習Ⅱ	2		
音楽教育学演習Ⅲ	2		
音楽教育学演習Ⅳ	2		
音楽教育学特講Ⅰ		2	4単位以上
音楽教育学特講Ⅱ		2	
音楽学特講Ⅰ		2	
音楽学特講Ⅱ		2	
音楽療法特講Ⅰ		2	
音楽療法特講Ⅱ		2	

●音楽教育学専攻(音楽療法)

授業科目名	単位数		備考
	必修	選択必修	
音楽療法研究Ⅰ	2		16単位
音楽療法研究Ⅱ	2		
音楽療法研究Ⅲ	2		
音楽療法研究Ⅳ	2		
音楽療法演習Ⅰ	2		
音楽療法演習Ⅱ	2		
音楽療法演習Ⅲ	2		
音楽療法演習Ⅳ	2		
音楽教育学特講Ⅰ		2	4単位以上
音楽教育学特講Ⅱ		2	
音楽学特講Ⅰ		2	
音楽学特講Ⅱ		2	
音楽療法特講Ⅰ		2	
音楽療法特講Ⅱ		2	

●選択科目

授業科目名	単位数		
	必修	選択必修	選択
器楽演習Ⅰ			1
器楽演習Ⅱ			1
器楽演習Ⅲ			1
器楽演習Ⅳ			1
声楽演習Ⅰ			1
声楽演習Ⅱ			1
声楽演習Ⅲ			1
声楽演習Ⅳ			1
オルガン奏法演習Ⅰ			1
オルガン奏法演習Ⅱ			1
オルガン奏法演習Ⅲ			1
オルガン奏法演習Ⅳ			1
チェンバロ奏法演習Ⅰ			1
チェンバロ奏法演習Ⅱ			1
チェンバロ奏法演習Ⅲ			1
チェンバロ奏法演習Ⅳ			1
オーケストラⅠ			1
オーケストラⅡ			1
オーケストラⅢ			1
オーケストラⅣ			1
吹奏楽Ⅰ			1
吹奏楽Ⅱ			1
吹奏楽Ⅲ			1
吹奏楽Ⅳ			1
室内楽Ⅰ			1
室内楽Ⅱ			1
室内楽Ⅲ			1
室内楽Ⅳ			1
指揮法Ⅰ			1
指揮法Ⅱ			1
指揮法Ⅲ			1
指揮法Ⅳ			1
創作研究Ⅰ			2
創作研究Ⅱ			2
創作研究Ⅲ			2
創作研究Ⅳ			2
他専攻授業科目			4
学部開設科目			8

器楽演習は、ピアノ、オルガン、チェンバロ、弦楽、管楽、打楽、邦楽、電子オルガン、ジャズ（楽器）とする。

声楽演習は、声楽およびジャズヴォーカルとする。

研究生（学部）募集要項

■募集する専攻

全専攻

■募集定員

若干名

■出願資格

（1）大学を卒業した者、もしくは大学卒業と同等以上の学力があると認められる者。

（2）本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。

■選考日程

（2017 年秋学期）

出願期間	2017 年 4 月 3 日（月）～5 月 8 日（月）【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2017 年 5 月 26 日（金）
入学手続	2017 年 5 月 29 日（月）～6 月 9 日（金）

（2018 年度通年・春学期）

出願期間	2017 年 10 月 2 日（月）～10 月 31 日（火）【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2017 年 11 月 24 日（金）
入学手続	2017 年 11 月 27 日（月）～12 月 8 日（金）

■出願書類

①志願書（「名古屋音楽大学入学試験志願票」）を使用
⑳研究計画書
⑩卒業（見込）証明書（本学卒業又は卒業見込みの者を除く）
⑪単位修得証明書及び成績証明書（本学卒業又は卒業見込みの者を除く）
推薦のある場合はその推薦書

■選考方法

書類選考（面接及び実技を課す場合がある）

■在学期間

※入学の時期は、学年または学期の始めとする。ただし、特別な理由がある者についてはこの限りでない。

※研究の必要により引き続き在学を希望する者に対しては、期間の延長を許可することがある。

※原則として 1 年以内

■入学金及び研究料

検定料	20,000 円
入学金	100,000 円
研究料	（年額）360,000 円 （半期）180,000 円

※本学音楽学部卒業生は入学金を免除する。

※一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

■受講科目

年間 45 分×26 回、半期 45 分×13 回を上限に実技レッスン又は指導を受講できる。

※指導教員及び授業科目担当教員の承諾を得て、学部の授業を受講することができる。ただし、単位は与えられない。

研究生（大学院）募集要項

■募集する専攻

全専攻

■募集定員

若干名

■出願資格

（1）大学院を修了した者、もしくは大学院修了と同等以上の学力があると認められる者。

（2）本学学生と区別なく授業を受けるに足る日本語の能力を有する者。

■選考日程

（2017 年秋学期）

出願期間	2017 年 4 月 3 日（月）～5 月 8 日（月）【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2017 年 5 月 26 日（金）
入学手続	2017 年 5 月 29 日（月）～6 月 9 日（金）

（2018 年度通年・春学期）

出願期間	2017 年 10 月 2 日（月）～10 月 31 日（火）【郵送・持込可。持込の場合は 16:00 まで】
合格発表	2017 年 11 月 24 日（金）
入学手続	2017 年 11 月 27 日（月）～12 月 8 日（金）

■出願書類

①志願書（「名古屋音楽大学入学試験志願票」）を使用
⑳研究計画書
⑩出身大学院修了（見込）証明書（本学修了又は修了見込みの者を除く）
⑪単位修得証明書及び成績証明書（本学修了又は修了見込みの者を除く）
推薦のある場合はその推薦書

■選考方法

書類選考（面接及び実技を課す場合がある）

■在学期間

※入学の時期は、学年または学期の始めとする。ただし、特別な理由がある者についてはこの限りでない。

※研究の必要により引き続き在学を希望する者に対しては、期間の延長を許可することがある。

※原則として 1 年以内

■入学金及び研究料

検定料	20,000 円
入学金	100,000 円
研究料	（年額）480,000 円 （半期）240,000 円

※本学大学院修士課程修了生は入学金を免除する。

※一旦納入された検定料は、いかなる理由においても返還いたしません。

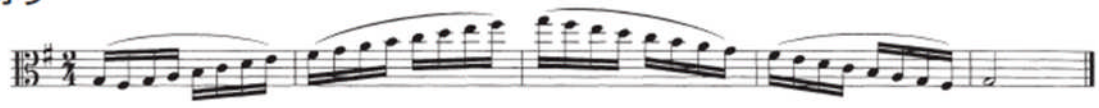
■受講科目

年間 60 分×26 回、半期 60 分×13 回を上限に実技レッスン又は指導を受講できる。

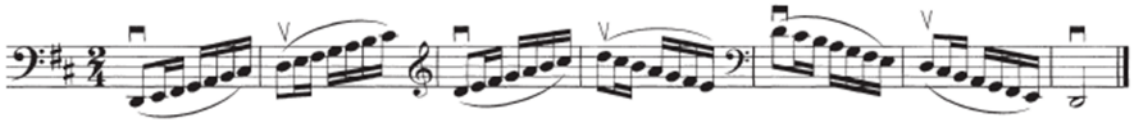
※指導教員及び授業科目担当教員の承諾を得て、本大学院及び学部の授業を受講することができる。ただし、単位は与えられない。

譜例

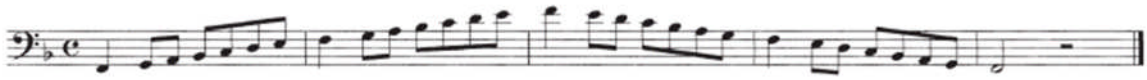
ヴィオラ



チェロ



コントラバス



例題　作文・小論文課題

【音楽教育】

下記の2 つの課題から1 つを選び、論述しなさい。

1. あなたが好ましいと思う、中学校音楽科の授業のイメージについてなるべく具体的に述べなさい。
2. 音楽の授業に用いる楽器として望ましいものを、リコーダー以外に一つ推薦し、その理由を述べなさい。

【音楽療法】

音楽療法は、発達障がいのある方（ダウン症、自閉症、脳性まひなど）、精神科領域のニーズのある方（統合失調症、うつ病、不安症など）、高齢者（認知症、パーキンソン病など）、人生の終末期にある方（末期ガンなど）、様々なニーズのある人が対象になります。あなたは将来的にどの様な対象者と音楽を通して関わってみたいですか？それはどうしてですか？

またその時に音楽がどのように作用すると思いますか？それらの対象者と音楽療法をする上で、どのような学びを名古屋音楽大学でしたいですか？

【音楽ビジネス】

あなたの企画でイベント（コンサート）を行うことが決まったとして、お客様を集めるためにどんな広報活動をしますか。

（例）・チラシ、ポスターなどの印刷物

・新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのメディア使用

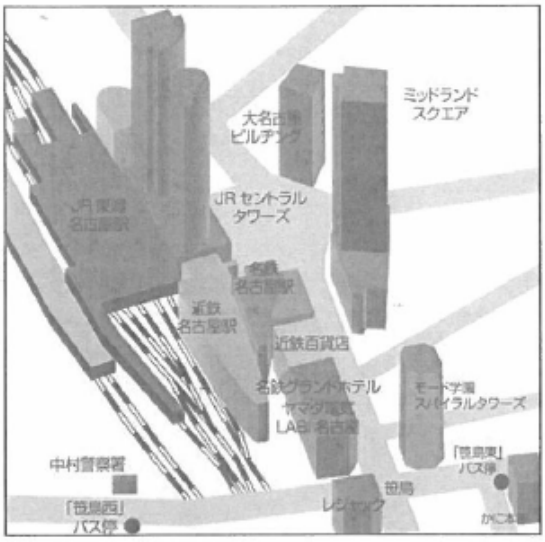
・SNS、Twitter、HP などのネットコミュニケーションツール使用

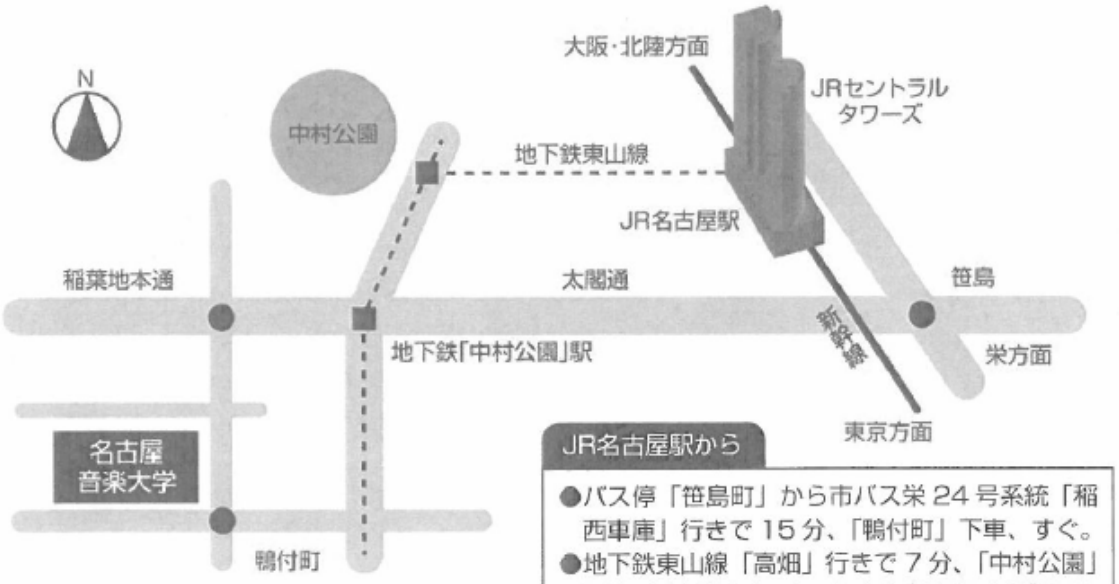
この例を参考にしてください。なお、ここにないものを挙げても構いません。

交通案内

大学周辺図

名古屋駅周辺図





JR名古屋駅から

- バス停「笹島町」から市バス栄24号系統「稲西車庫」行きで15分、「鴨付町」下車、すぐ。
- 地下鉄東山線「高畑」行きで7分、「中村公園」下車、中村公園バスターミナル(1番のりば)から市バス中村13号系統「稲西車庫」行きで5分、「鴨付町」下車、すぐ。

学校法人　同朋学園
名古屋音楽大学　音楽学部／大学院
〒453-8540　名古屋市中村区稲葉地町7-1　TEL 052-411-1545(入試・広報センター直通)
http://www.meion.ac.jp